

第3回豊島区観光振興プラン策定委員会でのご意見等を踏まえた対応状況

資料3

No.	ご意見	対応状況
<b>目 標</b>		
1		<p>【修正前】多彩な文化と多様な人々が交流し誰もが楽しめる都市としま ～オールとしまで推進するとしまブランドの確立～</p> <p>【修正後】多彩な文化で賑わう誰もがときめく都市としま ～オールとしまで推進する持続可能な都市の実現～</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「多様な人々が」と「誰もが」の記載が重なるため統一。</li> <li>・来街者同士の交流とも読めてしまうので、「交流」は削除し、現行プランの「賑わう」を復活。</li> <li>・「楽しめる都市」を「ときめく都市」に修正し、心躍りワクワクするだけでなく、自己実現できるまちであることを表現。</li> <li>・副題の「としまブランドの確立」よりも普遍的な前提条件となる「持続可能な都市の実現」を目標に掲げた。</li> </ul>
<b>ビ ジ ョ ン</b>		
2	<p>ビジョン1～3の記載内容の検討をした方がよい。</p> <p>1：国際アート・カルチャー都市の舞台を活用した人が主役となる持続可能な都市の実現</p> <p>2：オールとしまによる「稼げる」地域経営の推進</p> <p>3：あらゆる主体が連携した来街者の滞在促進</p> <p>ビジョン2、3が戦略と表現が重なる部分が多いので、表現を検討した方がよい。</p>	<p>ビジョンでは「5年後の将来像を示す」ことから以下のように修正</p> <p>【修正後】</p> <p>1：色とりどりのまちの輝きで魅せる観光の実現</p> <p>2：オールとしまによる「稼げる」地域経営の実現</p> <p>3：区民が誇れる「住みたい・訪れたい」まちの実現</p> <p>【理由】</p> <p>1：「国際アート・カルチャー都市の舞台を活用した人が主役となる」については、豊島区が多彩な文化資源に恵まれており、それをハード、ソフトの両面で活かしたまちづくりを行う意味合いであるので、「色とりどりのまちの輝きで魅せる」に修正。「持続可能な都市の実現」は、目標の副題に記載したため削除。</p> <p>2：ビジョンは5年後の将来像であることを踏まえて、「推進」を「実現」に修正。前回提示したビジョン2と3は、「オールとしま」と「あらゆる主体」が重複しており、また、「来街者の滞在促進」は、戦略2.において施策として頭出しし、「稼げる地域経営」のための一つの要素でもあることからビジョン2として統合。</p> <p>3：区民がこのまちで楽しむ、区民がわくわくするまちを作る視点がビジョンに表れていないのご意見があったため追加。シビックプライドの醸成により区民の地域貢献、魅力発信への意識が高まり、住みたいまち訪れたいまちの実現に貢献する。これにより、国が「観光立国推進計画」でも掲げている「持続可能な観光」「稼げる地域」「消費額拡大」、「住んでよし、訪れてよし」が全てビジョンに内包される。</p>

No.	ご意見	対応状況
3	区民がこのまちで楽しむ、区民がわくわくするまちを作る視点がビジョンに表れていない。区民が楽しめれば、外から来る人も楽しむだろうという観点でこの計画は作ってよい。	上記2の対状況のとおり
<b>戦略、施策、施策の方向性</b>		
4		<p>戦略1                      【修正前】多様な文化資源の発掘と活用による国際アート・カルチャー都市の推進                      【修正後】多様な文化資源の発掘と活用</p> <p>【理由】「国際アート・カルチャー都市の推進」についての具体的な内容が、前段に「多様な文化資源の発掘と活用による」旨記載されていることから削除。</p>
5		<p>戦略1-1-②より「サブカルチャー」を削除。</p> <p>【理由】戦略1-2-②にて「マンガ・アニメ・コスプレ」について記載しているとおり、これまでサブカルチャーとして言われていたマンガ・アニメ・コスプレ・同人誌等についても、クール・ジャパンを代表するコンテンツとして国内外で広く認識されるようになっており、もはや「サブカルチャー」の域を超えているため。</p>
6	観光で重要な祭りが入っていないのではないかな。	<p>戦略1-1-③「祭り、地域イベントを活用した区民と来街者との交流促進」を追加。</p> <p>【理由】地域独自の非日常的な祭り、イベント等の魅力を来街者に体験し、楽しんでいただく観点から記載内容を工夫した。</p>
7		<p>戦略1-3「まちの魅力の掘り下げ強化」を追加し、-①「日常に根差したまちの魅力活用」、-②「花と緑による地域の魅力増進」を追加し、戦略3-1-③より「食の魅力の発信強化」を移動した。</p> <p>【理由】祭りや地域イベントのような「非日常」ではなく、「日常」におけるまちの魅力、繁華街を多く抱える豊島区にとって、価値の高い花と緑の魅力を活用していくため。</p>

No.	ご意見	対応状況
8	<p>戦略4. の整理が必要、他の戦略に比べて内容が多い。                      戦略2. のSDGsの整理が必要である。持続性、環境配慮等の観点も入ってくるのではないか。</p>	<p>戦略2                      【修正前】SDGs未来都市、ウォーカブル都市として人が主役のまちづくりの推進                      【修正後】ウォーカブル都市として人が主役のまちづくりの推進</p> <p>【理由】SDGs未来都市の推進については、豊島区の観光振興の上でも当然の前提条件となることから、削除した。</p> <p>(旧) 戦略4で掲げていた「住みたいまち訪れたいまち」については、ビジョン3で記載することにした。                      (旧) 戦略4-1で掲げていた「地域・住民に寄り添った観光地域経営の推進」については、観光立国推進計画において「観光を通じて住民が自らの地域に誇りと愛着を感じることは活力に満ちた地域社会の持続可能な発展を可能にする」旨記載があり、SDGs未来都市の目指す都市像と重なるため、戦略2-4に移動した。                      (旧) 戦略4-2で掲げていた「多様な来街者を受入れるための環境整備」については、誰一人取り残さないSDGsの理念から戦略2-2「ユニバーサルツーリズムの推進」に移動した。                      (旧) 戦略4-3で掲げていた「産・官・学連携による観光施策の展開」について、①「民間企業と連携したインバウンド施策の展開」については、(新)戦略4-1-③「民間企業と連携した観光施策の展開」とした。民間企業との連携は、インバウンド施策に限られないため、「インバウンド」を削除した。また、②「大学等との連携による情報発信強化」については、若年層への情報発信に強みを発揮できることから、戦略3-2「ターゲットに合わせた情報発信の展開」に移動した。                      (旧) 戦略4-4で掲げていた④「旅行者の利便性向上の推進」、②「データ分析による効果的・効率的な観光施策の展開」についても、戦略3-2「ターゲットに合わせた情報発信の展開」に移動した。                      (旧) 戦略4-5で掲げていた④「地域の魅力の掘り下げ強化」については、戦略1「多様な文化資源の発掘と活用」-3に移動した。                      (旧) 戦略4-6で掲げていた「来街者の滞在促進」については、戦略4-3「来街者の滞在及び消費促進」として、③「キャッシュレス対応の強化」についても追加した。                      (旧) 戦略4-7で掲げていた「安全・安心なまちづくりの推進」については、戦略2-5に移動した。</p>
9	<p>キャッシュレス対応については、事業終了にしてしまうのか。外国人観光客の母国と同様の決済環境に近づけていく必要があるのではないか。</p>	<p>戦略4-3「来街者の滞在及び消費促進」に-③「キャッシュレス対応の強化」を追加。</p> <p>【理由】日本人向けのキャッシュレス対応については、現行プランにおいて、整備が進んできているが、外国人観光客向けのキャッシュレス対応については、まだ不十分であり、引き続き、民間事業者を主体とした取組が必要であるため。</p>
10	<p>日本人も外国人も同じように感動する体験がある。インバウンドの壁のない施策展開が必要ではないか。</p>	<p>現行プランは、東京オリンピック・パラリンピックを控え、インバウンド施策に重きを置いていたが、コロナ禍を経て、より地域・住民に寄り添った施策展開となるように検討を行っている。施策の方向性にて、「インバウンド施策」の記載を(旧)戦略3-1-②、(旧)戦略4-3-①の2項目で行っていたが、「インバウンド施策」の語句を削除することによって、インバウンドに限定しない意味合いとなるよう修正した。</p>
11	<p>ターゲット、カテゴリー別の施策の検討が必要ではないか。</p>	<p>戦略3-2「ターゲットに合わせた情報発信の展開」を追加。</p>

No.	ご意見	対応状況
12		<p>戦略4-1-（旧）②「交流都市及び区内の銘品販売による賑わい創出」を削除。</p> <p>【理由】「交流都市の銘品販売」については、戦略5-1-②「相互に恩恵を享受する交流事業推進」において、イケ・サンパーク・ファーマーズ・マーケット等を記載していく。また、「区内の銘品販売」については、戦略4-1-（旧）③を修正し、「伝統工芸品」を追加した上で、戦略4-1-②「区内銘品及び伝統工芸品の販路拡大、発信強化」とした。</p>
13		<p>戦略4-2「観光産業の持続的な成長促進」を追加。</p> <p>【理由】令和5年3月31日に閣議決定された「観光立国推進計画」にも、「観光産業は裾野が極めて広く、我が国の基幹産業へと成長するポテンシャルを有する総合産業である。今後、官民一体となって観光産業の付加価値を更に高め、「稼げる」産業へと変革を進めていく必要がある。観光産業が収益力を高め、適正な対価を収受して収益を地域内で循環させ、従事者の待遇改善も図ることが、観光産業に人材を惹きつけ、観光地の持続可能な発展を実現するために必要である。」旨記載があることから、-①「観光産業の経営力基盤強化」、-②「観光産業の担い手育成」を追加した。</p>
14	<p>インバウンド一辺倒ではなく、地域にしっかり軸足を置いて地元の商店街の方々と連携した観光振興が必要ではないか。</p>	<p>戦略4-1-①「商店街振興と融合した観光施策の展開」を記載済。</p>
15	<p>付加価値を上げるための施策の検討が必要ではないか。</p>	<p>戦略2-4-③「量よりも質を重視した高付加価値施策の展開」を追加。</p> <p>【理由】観光振興の最終目的は、地域の賑わいを創出し、観光消費額を増加することにあるが、それを持続可能な観光地域経営として実現する必要がある。コロナ禍を経て、一部観光地では、観光旅行者による混雑、マナー違反等住民との課題も生じていた。インバウンド増加の一方で、人数に依存しない取組の質的強化が必要となっているため。</p> <p>また、同様に戦略2-1-②「モノ消費から「代えがたい体験」の提供へ」において、体験型観光コンテンツ提供における高付加価値化についても記載していく。</p>
16	<p>災害時の対応及び災害時対応可能な施設であることを周知することにより、来街者に安心して施設で楽しんでいただけたということが重要である。</p>	<p>戦略2-5「安全・安心なまちづくりの推進」において、具体的に記載していく。</p>
17	<p>環境についての記載も必要ではないか。</p>	<p>戦略2-3「観光に配慮した持続可能な観光の推進」を追加し、この中で、脱炭素及び地球温暖化への取組についても記載していく。</p>

No.	ご意見	対応状況
18		<p>戦略5                      【修正前】相互に恩恵を享受し、補完し合う都市交流の推進                      【修正後】交流都市との共生推進</p> <p>【理由】戦略5-1-②の施策の方向性をより分かりやすくするために「相互に恩恵を享受する交流事業推進」と修正したため、表現が重なる戦略5の表記を見直し、上位計画である「豊島区基本計画」施策7-2-3の記載に合わせたため。</p>
19		<p>戦略5-1-②                      【修正前】「交流都市との持続可能な共創推進」                      【修正後】「相互に恩恵を享受する交流事業推進」</p> <p>【理由】具体的にどのような施策、事業が含まれているのかが分かりづらい表現であったため修正。交流都市の豊かな農産物を大消費地である豊島区で販売する「イケ・サンパーク・ファーマーズ・マーケット」事業や、自然豊かな交流都市（秩父市、箕輪町）に「としまの森」を造成する「カーボン・オフセット」事業が該当する。</p>
20		<p>戦略5-2「交流都市への送客促進」を追加。</p> <p>【理由】多くの人口を抱える豊島区において、交流都市の魅力をPRすることにより、豊島区民が交流都市へ訪問することを促進していくため。</p>
21	面白味がない。もっと読んで楽しく、ワクワクするような計画にできないのか。	改定後の豊島区観光振興プランの方向性が確定後、素案を作成する中で、記載方法等を工夫し、5年後の将来像を夢あるものとして感じられるよう表記を行っていく。